
但馬の蝶に関する覚え書き

谷角 素彦

1. 城崎郡竹野町でナガサキアゲハを目撃

筆者は1993年9月28日、竹野町竹野にてナガサキアゲハ *Papilio memnon* 1 ♀を目撃している。近年、本種は分布を東進させており、黒井(1990)によると但馬地方では浜坂町・香住町・城崎郡(町名不詳)・豊岡市・日高町・出石町で記録されているが、竹野町では未記録であった。

2. 美方郡浜坂町におけるイシガケチョウの古い採集例

筆者は小学1年まで、浜坂町で過ごした。幼少時より虫採りに興じ、家の近所で捕虫網をもって遊ぶのが常であった。小学校に入り、仲良くなったT君と一緒に宇都野神社に虫採りに出かけた。このとき、神社の石垣に止まっているイシガケチョウ *Cyrestis thyodamas* 1頭を採集した。「蛾のような変な蝶だな」という感想を抱いたことを覚えている。T君はミドリヒョウモンを採っており、お願いしてイシガケチョウと交換してもらった。蛾のような蝶より、当時憧れていたヒョウモン類のほうが、魅力があったのだ。今から考えると、もったいないことをしたものだが、少年時代の懐かしいひとこまである。このときの情景は記憶に鮮明に残っている。

データははっきりしないが、小学1年(1962年)の初夏の頃で、採集したのは♂であったと思う。

難波(1994)によると、但馬地方のイシガケチョウの最も古い記録は1959年9月13日に大屋町で採集された1♂で、2例目は1978年7月11日に日高町で採集された1♂、記録が増えてくるのは1992年以降となっている。

参考文献

黒井和之(1990) 但馬地方におけるナガサキアゲハの記録について、

IRATSUME13・14:70-71.

難波通孝(1994) “1994” イシガケチョウの飛翔, 自刊.